



発行:八幡市教育委員会 令和元年(2019年)11月20日  
URL <http://www.city.yawata.kyoto.jp/>

# 第73号

## おもな記事

- ◆平成31年度(令和元年度) 全国学力・学習状況調査の結果 1面
- ◆八幡浜市の中学生との交流 2面
- ◆教育大綱 3面
- ◆八幡市文化賞・スポーツ賞の表彰 3面
- ◆八幡第三幼稚園の取組 4面

授業の内容がよく分かると答えている児童生徒の割合が増えています。各校で、授業のユニバーサルデザイン

全国学力・学習状況調査 質問紙調査の結果より

	小学校		中学校	
	平成19年度	平成31年度	平成19年度	平成31年度
自分には良いところがあると思いますか	約65%	→ 約77%	約67%	→ 約70%
学校の決まり(規則)を守っていますか	約80%	→ 約88%	約81%	→ 約95%
算数(数学)の授業の内容はよく分かりますか	約76%	→ 約83%	約58%	→ 約75%
国語の授業の内容はよく分かりますか	約71%	→ 約79%	約66%	→ 約80%

全国学力・学習状況調査が開始された平成19年度と、平成31年度の結果を比べると、肯定的な回答をした児童生徒の割合は、左の表のような結果になりました。

### 質問紙調査より

**平成31年度(令和元年度) 全国学力・学習状況調査の結果**  
文部科学省による全国学力・学習状況調査が、今年も四月に小学校6年生、中学校3年生を対象に実施されました。教科に関する調査では、国語と算数・数学は、従来の「主として『知識』に関する問題」と「主として『活用』に関する問題」に区分するといった整理を見直して、一体的に調査問題を構成することとなりました。また、例年同様、生活、学習環境などに関する質問紙調査も行われました。

(3) 次の表の①から③は、ある女性に関する調査の結果を示しています。これらの情報を用いて、彼女について説明する英文をそれぞれ書きなさい。


① 出身	Australia
② 住んでいる都市	Rome
③ ペット (pet) の有 (O) 無 (X)	X

下の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

①

②

③



### 教科に関する調査より

八幡市全体としては、小学校、中学校ともに全国平均を下回りました。小学校の国語で特に課題が見られたのは、「情報を相手に分かりやすく伝えるための記述の仕方」の工夫を捉えることと「目的や意図に応じて、自分の考えの理由を的確にし、まとめて書くこと」でした。

中学校の英語で課題が見られたのは、次のような問題です。この問題は、「与えられた情報に基づいて、ある女性を説明する英文を書く」問題でした。このように、示された情報を解釈したり、目的や意図に応じて相手に分かりやすく伝えるための工夫を考えたたりしながら解く問題で、各教科とも課題がありました。

### 調査結果を踏まえて

単に内容を理解するだけでなく、主体的に考えたり、判断したりしながら、自分の考えを書いたり述べたりすることが大切です。

課題等を踏まえ、学習支援員等を活用した指導や少人数指導、発展的、補充的な学習などの個に応じた指導を引き続き実施し、授業改善や、教職員の授業力の向上の研修に取り組む等、学力の向上を目指します。

また、保護者や地域の皆様等の御理解と御協力のもとに十分連携をとりながら、放課後における学習習慣や生活習慣の改善に向けた取組を進めていきたいと考えています。

(学校教育課)

## 八幡浜市の中学生と交流しました

令和元年8月21日(水)から23日(金)の日程で、本市の中学生20人が愛媛県八幡浜市を訪問し、八幡浜市の中学生32人と交流しました。

八幡浜市は二宮忠八翁の生誕の地であり、八幡市は晩年を過ごした地であるということ、また地名が「八幡」という漢字だけではなく、「やわた」の読みも一致していて、両市には非常に深い縁があるということから、平成25年度より両市の中学生交流事業が始まり、今年で7年目となりました。昨年は台風の接近によりやむなく中止となりましたが、今年は天候にも恵まれ、充実した交流を行うことができました。

交流1日目は、歓迎式典の後、両市の中学生自らがプレゼンテーションを行いお互いの市の魅力を伝えました。次に、二宮忠八翁の人生を描いたミュージカル公演の鑑賞や、今年の5月に八幡浜市でマーマレードの品評会の世界大会が行われたことからマーマレードをイメージしたハーバリウムづくりを行い、二宮忠八翁の偉大さや八幡浜市の魅力について学びを深めました。



(「八」ポーズで記念撮影)



(魚のさばき方を教わる八幡市の中学生)

2日目は、舌間宮島海水浴場で地引き網を行い、地元でも珍しいコブダイなどが次々と網にかかり中学生から歓声があがりました。その後、貸切船で大島に渡航しました。大島では、両市混合の班に分かれクイズラリーを行いながら島内を散策し、親交を深めました。午後からは、八幡浜市の中学生自らがこの日のために練習を重ねてきた包丁さばきを披露し、見事な鯛料理3品を調理し、本市中学生に振舞ってくれました。あまりの美味しさに魚の魅力を再認識したり、魚嫌いを克服できた中学生もあり、とても貴重な機会となりました。

最終日は最後まで別れを惜しみながら、親交を深めた八幡浜市の中学生に見送られ帰路に着きました。

参加した中学生からは、「八幡市では経験できないことがたくさんできて、良い経験になった。」「来年も交流事業に参加して、八幡浜市のみなさんを最高におもてなしたい。」という感想があり、有意義な交流をすることができました。

来年度は、八幡浜市の中学生が本市を訪問する予定となっています。

これからも両市の友好関係を深めていきます。

(学校教育課)

### 不登校など児童・生徒に関する教育相談

#### ○教育相談(電話・面接相談)

平日(月曜日～金曜日)

午前10時～午後5時

市内在住の幼・小・中学生とその保護者の相談に応じています。

学校または教育支援センターに直接申し込み、ご予約下さい。

### 不登校児童・生徒支援

#### ○カウンセラーによる教育相談や教育支援教室でサポートします。

※市内小中学校に在籍する児童・生徒が対象です。

#### ○教育支援教室「さつき」

個別・小集団での活動や学習を通して、社会性を培うとともに、自立を促し、学校生活への適応や社会的自立を図ります。

【教育支援センター】所在地:八幡市男山笹谷2 電話:075-982-3001

# 新たな八幡市教育大綱を策定しました

教育大綱とは、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正（平成27年4月1日施行）に伴い、地方公共団体の長は、教育基本法に規定する国の教育振興基本計画における基本的な方針を参酌して、その地域の実情に応じ、当該地方公共団体の教育の大綱を定めることとされ、地方公共団体の長と教育委員会で構成する総合教育会議において協議・調整し、当該地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する目標や施策の根本となる方針を定めるものとされています。

本市では、平成28年4月に策定した大綱を見直し、これまでの「八幡市教育大綱」の理念を継承しつつ、平成31年4月、新たな「八幡市教育大綱」を策定しました。

本大綱は、第5次八幡市総合計画に掲げる「みんなで創って好きになる 健やかで心豊かに暮らせるまち」～住んでよし、訪れてよし Smart Wellness City, Smart Welcoming City Yawata～の実現のために、次代を担う人づくりの礎となる「教育」、まちの活力の源となる「文化」と「スポーツ」の一層の推進を図るための方向性を示すものです。

本大綱の概要は次のとおりです。

## 1. 将来都市像

みんなで創って好きになる 健やかで心豊かに暮らせるまち

～住んでよし、訪れてよし Smart Wellness City, Smart Welcoming City Yawata～

## 2. 基本理念

- (1) 体験活動を通して子どもの生きる力の育成
- (2) 家庭・学校・地域・関係機関の連携による教育の推進
- (3) すべての市民のための生涯学習とスポーツ、文化芸術活動の推進

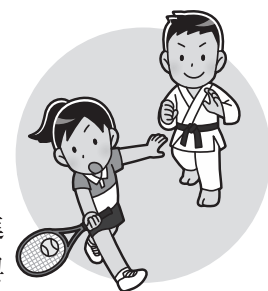
## 3. 基本方針

- (1) 就学前教育の充実 (2) 学校教育の充実 (3) 青少年の健全育成の推進
- (4) 生涯学習の機会の拡充 (5) スポーツの振興 (6) 文化芸術活動の振興

## 4. 大綱の期間

大綱が対象とする期間は、平成31年4月から5年間とします。ただし、社会情勢の変化等を踏まえ、必要に応じて本大綱を改訂します。

(教育総務課)



## 八幡市文化賞・スポーツ賞の表彰

令和元年11月3日(日祝)八幡市文化センターにおいて、八幡市文化賞・スポーツ賞の表彰式が行われ、小学生・中学生が対象となるジュニア賞では22人の児童生徒と、2団体が受賞されました。

受賞者は次のとおりです。(敬称略順不同)

### 【文化賞・個人】

▽大堀久美香(橋本小・書道)▽山本にこ(中央小・書道)

### 【文化賞・団体】

▽男山東中学校(小論文)

### 【スポーツ賞・個人】

▽瀧野未来(男山東中・陸上)▽真木駿祐(男山東中・陸上)▽藤原和真(男山三中・陸上)▽松井寧々(橋本小・トライアスロン)▽石野優生(男山三中・水泳)▽田中伶(男山三中・ソフトテニス)▽在原隼(男山三中・ソフトテニス)▽中尾侑貴(男山三中・ソフトテニス)▽濱本莉輝(男山三中・ソフトテニス)▽才田恵梨香(男山三中・柔道)▽榎村隼羽(くすのき小・柔道)▽日垣翔心(美濃山小・柔道)▽川原海斗(くすのき小・レスリング)▽澤木月栞(八幡小・空手)▽中西誠慈(くすのき小・空手)▽金丸空禾(美濃山小・空手)▽谷柚嬉(美濃山小・空手)▽竹歳翼(橋本小・剣道)▽清原将(橋本小・剣道)▽清原晃(男山三中・剣道)

### 【スポーツ賞・団体】

▽男山第三中学校(ソフトテニス)

(社会教育課)

# 関わる・つながる・縦割り保育 —遊びを通して育ち合う幼児をめざして— 八幡第三幼稚園の取組

八幡第三幼稚園では、今年度、八幡市公立幼稚園・こども園教育研究会公開保育の指定園として「関わる・つながる・縦割り保育」—遊びを通して育ち合う幼児をめざして—という研究テーマのもとに研究を進めています。

近年、人間関係の希薄化や少子化が進み、幼児が“子ども社会”の中で友達と協力したり、助け合ったり、ぶつかり合ったりしながら、挑戦することや困難を乗り越える経験をする場が減少しています。本園においても、各学年少人数クラスになり、クラスによっては葛藤やトラブルを体験せず穏やかに過ごしていたり、刺激が少なかったり、人との関わりが固定化するなどの幼児の姿が見られたので、幼児が異年齢児の友達と触れ合うことでさらに様々な経験や感情体験ができるように、縦割り保育に視点をあてました。

縦割り保育を通して異年齢児と関わることで、社会性や協同性が育まれます。多様な考え方や人間関係の中で、人に優しくしたり、葛藤や挫折をしたり、自分の思いを伝え互いに折り合いを付ける経験が大切であると考え、幼児が育ち合うための集団作りの工夫をし、互いにより多く刺激し合い、学び合い、共に育ち合う幼児に育てるための遊びや環境の工夫、教師の関わり方について取り組んでいます。

取組の一つとして「みんなであそぼう」の活動があり、異年齢児の縦割りグループで運動会の競技に使う乗り物を“段ボール箱でつくる・協力してつくる・3人で乗れるものをつくる”をテーマにグループ別に分かれて制作をしました。活動の中で3歳児・4歳児の思いを5歳児が優しく聞く姿や、自分の思いを出しつつ相手の思いを受け入れようとする姿、中には、どうしても意見が合わず時間をかけて相談しているところもあり、教師は、幼児同士で試行錯誤しながら制作できるように見守り、関わってきました。幼児は、自分たちでつくり上げた喜びを感じ、「先生、見て」「ここは…」と説明し満足感を味わうこともできました。競争をした後、グループで活動の振り返りをし、次の競争に向け作戦会議をする中で、乗りやすさや壊れないためにはどうしたらよいかを考え、話し合いが進んでいく姿を見ていると幼児



の育ちやつながりが深まっていることを感じました。遊びを通して人との関わり合いを学び、生きていくのに必要な力を身に付けています。

今後も、豊かな体験を通して、異年齢児で育ち合える関係を大切にしていきたいと考えています。

(保育・幼稚園課)

